



国際子ども図書館 学校図書館セット貸出し 世界を知るセット 小学校低学年向 内容紹介

このセットに含まれる本の内容紹介です。
学校での本の紹介や展示、学校図書館での選書などにご利用ください。
※外国語の本にある日本語タイトルは参考訳です。

1. せかいのひとびと

ピーター・スピアー えとぶん，松川真弓 やく
評論社 1982年

大型絵本の見開きいっぱい、地球上の様々な場所で暮らす人々を紹介する。肌、目の色、服装、宗教や文字など、その多様性を等しく描き、地球上でともに生きていることを知ることができる。

2. はがぬけたらどうするの？：せかいのこどもたちのはなし

セルビー・ビーラー 文，ブライアン・カラス 絵，こだまともこ 訳，石川烈 監修
フレーベル館 1999年

乳歯が抜けた時、抜けた歯をどうするか。世界中から集めた、66の言い伝えや風習を紹介する。歯が生え変わる時期の子どもたちが異文化に触れるきっかけとなる絵本。巻末には歯のことが分かる知識のページがある。

3. せかいいっしゅうあそびのたび：せかいのこっきせかいのあそび

ペズル 文，平澤南 絵，寒川恒夫 監修
プレジデント社 2020年

そらくん、あいちゃん、犬のビビと一緒に世界を回って、世界40か国のあそびを体験する本。各国の首都、使われている言語と「こんにちは」の表現も紹介する。巻末に197か国の国旗の一覧あり。

4. ここがわたしのねるところ：せかいのおやすみなさい

レベッカ・ボンド 文，サリー・メイバー 作画，まつむらゆりこ 訳
福音館書店 2022年

世界各地の子どもたちが寝ている場所を美しい刺繍と子守唄のようなやさしい言葉で紹介した絵本。その土地の気候や風土についても簡単に触れている。

5. あかてぬぐいのおくさんと7にんのなかま

イ・ヨンギョン ぶん・え, かみやにじ やく
福音館書店 1999年

昔、裁縫のとても上手なおくさんがいた。ある日おくさんがうたた寝をしていると、ものさし、はさみ、針、糸など7つの裁縫道具が次々と現われ、自分こそ一番役に立つと自慢を始める。韓国の民族衣装チマチョゴリを着たものさしふじんやはさみおじょうさんなどが個性的でユーモラス。韓国の古い物語を材料にした絵本。

6. チュンチェ：中国のおしょうがつ

ユイ・リーチョン 文, チュ・チョンリャン 絵, 中由美子 訳
光村教育図書 2011年

7. 団圓（中国語）

余麗琮 文, 朱成梁 図
明天出版社 2008年

中国の伝統行事である春節（チュンチェ、旧暦のお正月）に、出稼ぎで家を離れていたお父さんが帰ってきた。久しぶりに会ったお父さんとの家族団らんをうれしい気持ちで過ごす女の子マオマオ。楽しい時間はあっという間に過ぎていき、またお父さんが行ってしまう日にマオマオはお父さんとある約束をする。家族とともに過ごす時間の大切さや、故郷を想う気持ちを感じられる絵本。

8. A Hong Kong ABC（英語）香港のABC

written and illustrated by Jacqui Taylor
Publishers Associates Limited 2000年

香港の生活風景を描いたイラストを楽しみながら、アルファベットを学べる絵本。文章は韻を踏みリズムカルで、声に出して読んでも楽しめる。

9. しーっ！ぼうやがおひるねしているの

ミンフォン・ホ 作, ホリー・ミード 絵, 安井清子 訳
偕成社 1998年

ぼうやを寝かしつけるお母さんは小さな蚊やニワトリなどの動物たちに呼びかける。「しずかにして。ぼうやがおひるねしているの」。タイの人たちの耳がとらえた、動物の鳴き声の表現が興味深い。のどかなタイの農村の風景が味わえる絵本。

10. トウクパをたべよう：インドのごちそうスープ

プラバ・ラム, シーラ・プルイット ぶん, シルパ・ラナデ え, あまがいひろみ やく
イメージネーション・プラス 2020年

目の見えない少年ツェリンは、おばあさんが晩ごはんにごちそうスープ「トウクパ」を作る日、帰り道で出会う友達を次々に晩ごはんに誘う。家に帰っておばあさんと「トウクパ」を作っている途中、思わぬハプニングがおきて…。インドのラダック（北部の山岳地帯）の人たちの暮らしを知ることができる絵本。

11. Beasts of India (英語) インドのけもの

edited by Kanchana Arni and Gita Wolf

Tara Books Private Limited 2017年

インドを代表する動物たちが、インド各地の民族に伝わるさまざまな芸術様式で描かれている。手漉きの紙にシルク印刷を施したハンドメイド絵本。

12. プンクマインチャ：ネパール民話 新版

大塚勇三 再話，秋野亥左牟 画

福音館書店 1992年

心優しい女の子プンクは、いじわるな継母とその娘チャンパと暮らしていた。お腹をすかせたプンクに、ドーン・チョーレチャという二つ頭の不思議な山羊が食べ物をくれるが、それを継母に見つかってしまう。山羊は殺されるが、プンクが骨を牧場に埋めると…。ネパール民話の絵本。

13. きつねのホイティ

シビル・ウェッタシンハ さく，まつおかきょうこ やく

福音館書店 1994年

きつねのホイティは、干してある洗濯物をちょっぴり拝借して人間になりすまし、親切な村人の家でおいしい夕飯にありつこうと思いつく。けれども村のおかみさんたちのほうがホイティよりも一枚うわ手で…。スリランカの絵本作家ウェッタシンハの創作絵本。

14. アフガニスタンのひみつの学校：ほんとうにあったおはなし

ジャネット・ウィンター 作，福本友美子 訳

さ・え・ら書房 2022年

今から20年ほど前のアフガニスタンでの実話をもとにした絵本。学校に行くことを禁じられ、両親をタリバンに連れ去られて、心を閉ざしてしまった少女ナスリーンが、女の子のために開かれたひみつの学校に通い、支えてくれる人々や友達と触れ合いながら、自分を取り戻していく物語。

15. アリババと40人のとうぞく：アラビアンナイトより

ナルゲス・モハンマディ 絵，愛甲恵子 再話

ほるぶ出版 2021年

貧しいながらも賢いアリババとその召使いのマルジャーナが、40人の盗賊を相手に武力ではなく知恵と機転でたたかい、最後には宝物を手に入れる。スリル満点のストーリー展開に引き込まれる。中東のみならず世界各地で語り継がれてきた「アラビアンナイト」の一つをイラン出身の画家が描いた絵本。

16. なぞなぞ 100 このほん

M.ブラートフ 採集, 松谷さやか 編・訳, M.ミトゥーリチ 絵
福音館書店 1994年

「うまれたときからひげがはえているのはだれ?」、答えは「ねこ」。旧ソ連の昔話研究者が編んだ本より、100個のなぞなぞを選び、ロシアの代表的な画家であるミトゥーリチがイラストを描いた絵本。少し難しいなぞなぞもあるが、イラストが大きなヒントとなっている。答えはページの端に逆さまに記されている。巻末にはどの民族のなぞなぞかを示した一覧がある。

17. てぶくろ：ウクライナ民話

エフゲーニ・M.ラチョフ 絵, うちだりさこ 訳
福音館書店 1965年

おじいさんが落としていった片方だけの手袋に、小さなねずみからはじまり、最後は大きな熊までもが入り、住みかとしようとする。次々と現れる動物たちや、手袋が少しずつ住み心地よいように工夫されていく様子が、温もりのある絵で描かれる。1965年に日本で翻訳出版されて以来、多くの子どもたちから愛され続けているウクライナの昔話絵本。

18. ペレのあたらしいふく

エルサ・ベスコフ さく・え, おのでらゆりこ やく
福音館書店 1976年

ペレは、羊の毛を刈り取り、それで新しく自分の服を作ることにする。ペレが様々なお手伝いをしてくれるかわりに、刈り取った毛を梳いてもらったり、梳いてもらった毛を糸に紡いでもらったり、その糸を布に織ってもらったりと、羊の毛はだんだんと服の形に近づいていく。昔ながらの丁寧な手仕事の様子が、暖かみのある絵で描かれる。100年ほど前に生きたスウェーデンの古典的絵本。

19. しずくのぼうけん

マリア・テルリコフスカ さく, うちだりさこ やく, ボフダン・ブテンコ え
福音館書店 1969年

水の性質を知ることができる科学絵本。水滴の「しずく」が冒険の旅をする話となっており、子どもたちが親しみやすく、言葉のリズムも良い。ポーランドの絵本。

20. 金のがちょうのほん：四つのむかしばなし

レズリー・ブルック 文・画; 瀬田貞二, 松瀬七織 訳
福音館書店 1980年

三人兄弟の末のおすこは、森で出会った小人に食べ物をわけてあげた。お礼にと教えてもらった木を切ると中に金のがちょうがいた。おすこはがちょうをかかえて歩き出した…おすこが手に入れた幸運を描いた表題作ほか「三びきのくま」、「三びきのこぶた」など、日本でもよく知られているイギリスの昔話4話が収録されている。

21. ピーターラビットの絵本シリーズ 新装版

ビアトリクス・ポター さく・絵, いしいももこ やく
福音館書店 2002年

1902年に第一作が出版され、100年以上経った今なお、子どもたちをひきつける魅力を持つ絵本シリーズ。いたずら好きのこうさぎのピーターの家族やあひるやねこなどのお話。子どもたちは、擬人化された小動物に自分を重ねて小さな冒険を楽しむことができる。子どもの手のひらにすっぽりと収まる大きさの装丁で、写実的な挿絵が美しい。

「ベンジャミンバニーのおはなし」「プロプシーのこどもたち」「こねこのトムのおはなし」「2ひきのわるいねずみのおはなし」「のねずみチュウチュウおくさんのおはなし」「まちねずみジョニーのおはなし」「りすのナトキンのおはなし」「あひるのジマイマのおはなし」「グロスターの仕たて屋」「ティギーおばさんのおはなし」「レミー・フィッシャーどんのおはなし」のいずれか1冊を貸出。

22. 神の道化師

トミー・デ・パオラ さく, ゆあさふみえ やく
ほるぷ出版 1980年

何でもお手玉のように回せる少年ジョバンニは、旅芸人の一座に入り、得意の芸で大勢の人々を喜ばせた。しかしやがて、年老いたジョバンニの芸に人々は足を止めなくなった。ジョバンニはクリスマスの日にふるさとの教会に辿り着き、イエス像の前でもう一度芸を披露する。素朴なキリスト教信仰を下敷きに、道化師の一生を描くイタリアを舞台にした昔話。

23. Nella nebbia di Milano (イタリア語) きりのなかのサーカス

Bruno Munari
Corraini 1996年

大胆なデザインの絵と、おしゃれな仕掛けが楽しめる。半透明の紙で霧のミラノの街が表現されており、次のページが透けて見える仕掛けもある。イタリアの絵本。

24. げんきなマドレーヌ

ルドウィッヒ・ベーメルマンズ 作・画, 瀬田貞二 訳
福音館書店 1972年

フランス・パリの古い寄宿舎に住む12人の女の子のなかで、一番小さなマドレーヌはとてもお転婆で、ねずみも怖くないし、スキーもスケートも得意。ある晩、そんなマドレーヌに異変が起こる。アメリカの作家ベーメルマンズによる創作絵本で、背景にたくさんのパリの名所が描かれている。

25. Dix grenouilles (フランス語) 10匹のカエル

Quentin Blake
Gallmard jeunesse 1997年

国際アンデルセン賞受賞作家クエンティン・ブレイクによる数の絵本。英語とはまた違ったフランス語での数の数え方を楽しめる。

26. もじゃもじゃペーター

ハインリッヒ・ホフマン さく，ささきたづこ やく
ほるぷ出版 1985年

27. Der Struwwelpeter oder lustige Geschichten und drollige Bilder (ドイツ語)

Heinrich Hoffmann
Insel Verlag 2006年

1845年にドイツで出版されて以来、ヨーロッパ圏内のみならず、世界中の子どもたちから愛され続けている古典的絵本。いたずら心いっぱいのあるままの子どもの姿が、デフォルメされた素朴な線画で描かれている。表題作はじめ、軽快な韻文の10編の作品からなる。

28. ウルスリのすず

ゼリーナ・ヘンツ 文，アロワ・カリジェ 絵，大塚勇三 訳
岩波書店 2018年

春の初めのお祭り「鈴行列」に参加する、山の子ウルスリのお話。絵本の舞台となっているスイス、エンガディン地方グアルダ村の自然と子どもたちの様子が生き生きと描かれている。

29. もぐらとずぼん

エドアルド・ペチシカ 文，ズデネック・ミレル 絵，うちだりさこ 訳
福音館書店 1967年

もぐらが「大きなポケットがついた青いずぼんがほしい」と一途に思っていると、亜麻が「いうとおりにはすればできる」と教えてくれた。もぐらが、亜麻を育てると、蛙が亜麻の茎を水に浸し、コウノトリが茎を折り曲げ、ハリネズミが梳き、蜘蛛が糸を紡いでくれて…。チェコの絵本。

30. かもさんおとおり

ロバート・マックロスキー 文・絵，わたなべしげお 訳
福音館書店 1965年

31. Make way for ducklings (英語)

By Robert McCloskey
Viking Press 1941年

かものマラードおくさんが、こがもたちを連れて、ボストンの町を練り歩く。かもの行列のために交通整理を買って出る警察官、温かく見守る町の人々など、日常のささやかな出来事を楽しむおおらかな姿が小気味良い。こがもたちの英語の名前の頭文字がアルファベット順になっているなど、英語ならではの言葉遊びが面白い。

32. ふたりはともだち

アーノルド・ローベル 作，三木卓 訳
文化出版局 1972年

かえるくんとがまくんのお話が5つ入っている。どれも2人の友情がほのぼのと描かれ、低学年から大人まで、心温まるお話を楽しむことができる。『おてがみ』は教科書にも載っているお話。ほかに『ふたりはいつも』『ふたりはきょうも』などのシリーズがある。

33. 太陽へとぶ矢

ジェラルド・マクダーモット さく，じんぐうてるお やく
ほるぷ出版 1976年

太陽神の放った命の矢に射ぬかれた娘が、男の子を身ごもる。成長した男の子は、まだ見ぬ父を求めて太陽へと向かう。そして、父が課した数々の試練を乗り越え、大いなる力を得て、少年は再び大地へと帰っていく。アメリカ先住民に伝わる物語を描いた絵本。

34. おまつりをたのしんだおつきさま：メキシコのおはなし

マシュー・ゴラブ 文，レオビヒルド・マルティネス 絵，さくまゆみこ 訳
のら書店 2019年

メキシコ南部にあるオアハカ州に伝わるお話。ほしたちが、おまつりが楽しそうだしおひさまの空にひっこししたいと話しているのを聞いてしまったおつきさま。ひとりぼっちになるのは困ると慌てたおつきさまは、それならば夜にもおまつりをやろう！と村人たちを誘っておまつりを開いたが…。空に太陽と月と一緒に浮かんでいる現象をユーモラスに表現した絵本。

35. チトくんとにぎやかないちば

アティヌーケ 文，アンジェラ・ブルックスバンク 絵，さくまゆみこ 訳
徳間書店 2018年

お母さんにおぶわれて、にぎやかな市場へやってきた小さな男の子チト。行く先々のお店でもらった食べものを、お母さんが頭に乘せている大きなかごにこっそり入れていくと…。明るい色彩とおおらかな西アフリカの市場の人々の情景が楽しい絵本。

36. ダチョウのくびはなぜながい？：アフリカのむかしばなし

ヴァーナ・アーダマ 文，マーシャ・ブラウン 絵，まつおかきょうこ 訳
富山房 1996年

昔、ダチョウは足も首も短かく、えさを食べるのにもひと苦勞。ある日、虫歯のワニに頼まれて、ワニの口の中に頭を突っ込んで覗き込んだところ、とんでもないことが起こる。ケニアのダチョウにまつわる昔話。

37. もどってきたガバタばん：エチオピアのお話

渡辺茂男 やく，ギルマ・ベラチョウ え
福音館書店 1997年

「ガバタばん」はエチオピアの将棋盤。お父さんに作ってもらったガバタばんが気に入っていた男の子は、ある日それを牛追いに持って行くが、火を起こすために木を探していた男たちに差し出すと燃やされてしまう。男の子は、その代わりに立派なナイフをもらう。そのナイフも槍（やり）に代わり…。さておしまい、何に？エチオピア出身の画家の絵とともに楽しめるゆかいな話。

38. ひとつ、アフリカにのぼるたいよう

ウエンディ・ハートマン 文，ニコラース・マリッツ 絵，さくまゆみこ 訳
文化出版局 2000年

アフリカに生きる動物たちを描いたかぞえ歌絵本。こおろぎからライオンまで、さまざまな生き物が力強いタッチと色使いで表現されており、自然のなかの命のつながりについて語りかける。

39. わたしのバーニーいつもいっしょ

ドロシー・バトラー さく，エリザベス・フラー え，ももゆりこ やく
のら書店 1997年

女の子とくまのぬいぐるみバーニーのお話。買い物に行くときも、遊びに行くときも、庭仕事をするときも、ベッドに行くときも、女の子はバーニーと一緒に。でも来年か再来年、学校に行くときは…それぞれの場所へ行く際の持ちものが、ひとつずつ丁寧に描かれている。

40. ソフィー・スコットの南極日記

アリソン・レスター 作，斎藤倫子 訳
小峰書店 2013年

9歳の女の子ソフィー・スコットの南極での経験を描く。著者が描いた挿絵の他に、著者の経験談をもとに子どもたちが描いた絵や、実際に南極で撮影された写真が使用されている。著者自身がオーストラリア南極観測隊の研究者としてモーション基地へ行った経験がもとになっている絵本。

国立国会図書館 国際子ども図書館
児童サービス課 児童サービス企画係
URL : <https://www.kodomo.go.jp/>